2026 年度 全国学力・学習状況調査の結果概要と改善の方向

札幌市立北陽中学校

【国語】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【区分及び領域】 △ 「言葉の特徴や使い方」 ・全国平均を上回っている。 ▽ 「情報の扱い方」 ・全国平均を下回っている。 △ 「話すこと・聞くこと」 ・全国平均を上回っている。 △ 「書くこと」 ・全国平均を上回っている。 △ 「読むこと」 ・全国平均を上回っている。	●語句の辞書的な意味を踏まえ、文脈上の意味を捉えること。 ●文脈に即して正しく漢字を書き、語句を文章の中で使うこと。 ●情報と情報との関係の様々な表し方を理解し使うこと。	○朝読書の時間を活用して多くの文章に触れる機会の充実。 ○授業の中で漢字テストなどを行い、漢字の読み書きが定着するための指導の工夫。 ○情報を整理し、関連付けを見出すことができる力を身に付けられるような指導の工夫。

＜記号の意味＞　全国平均正答率と比較して 4 段階で示しています。

△	全国平均に比べ上回っている	
◇	ほぼ同程度	やや上回っている
		やや下回っている
▽	全国平均に比べ下回っている	

…全国平均正答率

【数学】

本校の概要	今回の調査における課題	改善の方向
【区分及び領域】 △　A「数と式」 ・全国平均を上回っている。 △　B「図形」 ・全国平均を上回っている。 △　C「関数」 ・全国平均を上回っている。 △　「データの活用」 ・全国平均を上回っている。	●数学的に表現したことを事象に即して解釈し、問題解決の方法を数学的に説明すること。 ●データの傾向を的確に捉え、判断の理由を度数分布多角形の特徴を基に説明すること。	○ 日々の授業の中で、課題探究的な学習を行い、生徒自らが課題を見いだし、問題解決の方法を数学的に説明したり、データの傾向を的確に捉え、判断の理由を説明したりする場面の充実。

＜記号の意味＞　全国平均正答率と比較して 4 段階で示しています。

△	全国平均に比べ上回っている	
◇	ほぼ同程度	やや上回っている
		やや下回っている
▽	全国平均に比べ下回っている	

…全国平均正答率

【英語】

課題	改善の方向
◇日常的な話題について、短い文章を読み、概要を捉えること。	○日常的な場面で使われる基本語彙の定着を図ったり、文脈の中で語彙を学ぶ活動や、既習語彙を使って意味を推測する指導を取り入れたりする。
△日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理しまとまりのある内容を話すこと。	○教科書の題材をもとに表現方法を学び日常的なテーマでも活用して発信する機会の充実を図る。
△社会的な話題について短い文章を読み要点をとらえ考えとその理由を書くこと	○社会的な話題に対して賛成や反対など自分の意見を既習文法を使用して述べたり書いたりする時間を増やす。
△日常的な話題について、事実や自分の考え、気持ちなどを整理し、まとまりのある文章を書くこと	○ALT への手紙、クラスメイトへの紹介文、海外の同世代へのメッセージなど、「誰に・何のために伝えるのか」という意識を持たせることで、読み手に伝わるように文章を書く機会を増やす。

＜記号の意味＞　全国平均正答率と比較して 4 段階で示しています。

△	全国平均に比べ上回っている	
◇	ほぼ同程度	やや上回っている
		やや下回っている
▽	全国平均に比べ下回っている	

…全国平均正答率

【生活習慣・学習習慣に関する調査】

今回の全国学力状況調査では、国語・数学・英語の学力調査の他、生活習慣、学習環境に関する質問が行われました。

今年度の結果は、以下の通りです。全国平均を上回る項目については、今後も伸ばしていくような取組を心がけ、下回っている項目については、要因となるものを分析して、その改善に向け、取り組んでいきたいと考えております。質問項目について、特に顕著な例を挙げます。

〇肯定的な回答の割合が特に高い項目について

【生活・行動面】

・先生は、あなたのよいところを認めてくれていると思いますか
・学校に行くのは楽しいと思いますか
・あなたの学級では、人と違う意見を言っても否定されないと思いますか
・あなたの学級では、学級生活をよりよくするために学級活動で話し合い、互いの意見のよさを生かして解決方法を決めていますか
・学級活動における学級での話合いを生かして、今、自分が努力すべきことを決めて取り組んでいますか

【学習面】

・分からないことや詳しく知りたいことがあったときに、自分で学び方を考え、工夫することはできていますか
・あなたは自分が PC・タブレットなどの ICT 機器を使って学校での活動でプレゼンテーション（発表のスライド）を作成することができると思いますか
・１、２年生のときに受けた授業で、自分の考えを発表する機会では、自分の考えがうまく伝わるよう、資料や文章、話の組立てなどを工夫して発表していましたか
・総合的な学習の時間では、自分で課題を立てて情報を集め整理して、調べたことを発表するなどの学習活動に取り組んでいますか

〇肯定的な回答の割合が特に低い主な項目について

【生活・行動面】

・人が困っているときは、進んで助けていますか
・困りごとや不安がある時に、先生や学校にいる大人にいつでも相談できますか
・地域や社会をよくするために何かしてみたいと思いますか
・普段（月曜日から金曜日）、スマートフォンや携帯電話、パソコン、タブレット、ゲーム機、テレビ等で SNS や動画視聴などを１日、２時間以上している割合が全国平均を上回る

【学習面】

・先生は、授業やテストで間違えたところや、理解していないところについて、分かるまで教えてくれていると思いますか
・学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、PC・タブレットなどの ICT 機器を、勉強のために１日、２時間以上使用している割合が全国平均を下回る

・質問紙調査の結果から、本校の生徒たちの自己肯定感や、多様な考え方を認め合う柔軟な姿勢、そして現代的な ICT を活用した学習スキルが伸びていることが分かりました。
・学級でよりよい生活について話し合い、それを守りお互いに高め合おうとする気持ちが強い傾向にあります。日常の取組や学活・道徳を通して自分や学級の生活を見直したり、よりよいものにしていく活動を継続していきます。
・他人が困っている時に進んで助けることや、困ったことがあった時にいつでも相談できるかという項目で全国より低い結果となりました。また平日の SNS や動画視聴時間が全国平均より長く、平日に ICT 機器を、勉強のために使っている時間も、全国平均より短いという結果が出ました。心の健康観察アプリの活用や、教員側からの積極的な働きかけなど、今まで以上の具体的な取組を模索する必要があると受け止めています。